

平成23年 3月 7日

香川大学と富士通㈱が共同研究で開発した特別支援携帯アプリが「universal design award 2011」を受賞

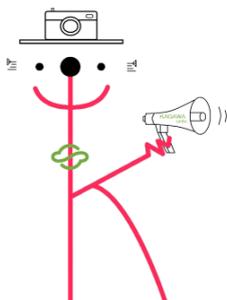
香川大学と富士通㈱との共同研究「特別な支援を必要とする子どもたちへの携帯電話活用」で、共同開発した携帯電話「発達障がい（自閉症・学習障がい）と「知的障がいのある特別な支援を必要とする子どもたちの生活・学習をサポートする特別支援携帯アプリ」において、ドイツの「universal design award 2011」を受賞しました。このアプリケーションは、世界最大のIT見本市「CeBIT」にて展示されます。

「universal design award」は、ドイツのユニバーサルデザイン協会（universal design e.V.）及びその事業運営企業であるユニバーサルデザイン有限会社（universal design GmbH）が主催する国際的なユニバーサルデザイン賞で、2008年に設立されたものです。

この賞には、富士通株式会社が代表でエントリーしていました。実証実験において共同研究を行った点についてもPRを行い、受賞することができました。

今回受賞した「特別支援携帯アプリ（「タイマー」・「絵カード」・「筆順）」は、特別な支援を必要とする子どもたちと、その指導者や保護者などを対象にした生活・学習をサポートする携帯電話用アプリケーションです。

このアプリは富士通株式会社が開発し、教育学部（坂井、宮崎研究室）と共同で、2010年5月から9月まで、生活・学習支援の有効性について実証実験を行い、機能や操作性を改善して2010年10月から無償で公開しているものです。公開から約4ヶ月間で約2万本がダウンロードされています。



[本件に関する連絡先]

香川大学教育学部坂井研究室

電話:087-832-1551

受付時間:9時~17時(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く。)